
恋人を作る方法

クラッキー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋人を作る方法

【Nコード】

N2847BA

【作者名】

クラッキー

【あらすじ】

恋人がいない、恋人が出来ない全ての人に贈る恋愛バイブル！
恋人いない歴と年齢が一緒の人間にも、理想の相手が見つかる…かも？

ノリと勢いで書いた作品なので、皆さんも肩の力を抜いて、気楽な気持ちで読んで下さい。

STEP・1 (前書き)

主人公について

名前：松下直緒

年齢：27歳

職業：普通のOL

性格：人見知り

男と話すのは苦手

趣味：ゲーム、漫画、ネットなど

恋人いない歴：年齢と一緒に

STEP・1

『恋人を作る方法（女性編）』

『恋人が出来ない、恋人がいない方に贈る恋愛バイブル!』

その日、漫画の新刊を買う為に仕事帰りに本屋に寄ると、文芸書コーナーで、ある本の題名に目が止まった。

明らかに、胡散臭い題名である。

本の通りにいくなら、この歳まで処女なんてあり得ない!

苦笑いしながら、レジに向かった。

しかし、直前で引き返し、その本を手にとって、再び、レジに向かった。

別に、本の通りにするつもりはない。

ただ、何となく、気になっただけ…。

少しでも、参考になることがあれば…。

家に帰り、漫画の新刊を読み終わった後、例の本を読み始めた。

【はじめに】

この本に書かれている方法は、全ての女性に当てはまるわけではありません。

既にパートナーのいる人は、古本屋にでも売ってきた方がいいでしょう。

意中の男性がいる人は、その人を諦める必要があるかも知れませんが、しかし、恋人が出来ない、もしくは、すぐにふられてしまう、そんな方には是非とも読んでいただきたい本です。

この本の通りにいかない場合もあるでしょう。

そこで諦めるか、更に努力するか、それは、あなた自身が決めることです。

* * *

小さい頃から、少女漫画を読み漁り、王子様が現れるのを夢見てきた。

だがしかし、現実にそんな奴が現れるはずもなく、気が付けば、27歳になってしまった。

彼氏は欲しいが、作る方法が分からないし、男に話し掛けることすら一苦労…。

中学生から大学生まで、周りは女ばかり。

働き始めても、周りは既婚男性や、恋人のいる男性ばかり。

そんな私にも、私だけの王子様は現れるのだろうか？

STEP・2

【準備編 分析する】

あなたは、自分を客観的に評価するところから始めなければなりません。

敵を知り、己を知れば何とやら、です。

辛い作業になるかも知れませんが、これを誤ると、全てが上手くいきません。

まず、あなた自身をAからFの六段階で自己評価して下さい。

容姿、体型、年齢、性格などの項目から総合的に評価して下さい。

出来るだけ、厳しく評価して下さいね。

評価し終わったら、それを客観的評価に変換します。

自己評価から一段階下げたところ、それが、あなたに対する客観的評価です。

この方法だと、A評価がないことになりましたが、そもそも、客観的評価がAの女性は、この本を読んでいないでしょう。

そして、いくら厳しくと言っても、自己評価を最低のFとした人もいないと思いますので、客観的評価は、実質、BからFの五段階評価です。

これは、あなたに合った人を見つける為の手段であり、彼氏を作りやすい、作りにくいを示す目安ではありません。

F評価の人も、諦める必要はありません。

少しでも評価を上げる為に、自分磨きと称して、習い事などをする人もいますが、現段階では必要ありません。

これらは、後々、必要に迫られる場合がありますが、今は気にすることではありません。

あと、一つだけ注意しておきますが、深夜に小腹が減ったからと言って、お菓子を食べながらこの本を読んでいる、あなた！

自ら、難易度を上げてるだけですよ。

* * *

私は、そっと、お菓子の袋を閉じた…。

私の客観的評価は、Dだった。

本来はEなのかも知れないが…。

この本は、今までのこういう類いの本や雑誌とは、明らかに違う。
可愛く、綺麗に魅せる。

自分に自信を持つ。

自分磨きに励む。

この本は、これら全てを否定している。

モテる女性の条件、などというものは、存在しないのか？

STEP・3

【準備編 見定める】

自己分析が終わったなら、次は、あなたの周りにいる男性を評価してみましよう。

男友達、同級生、同僚、先輩後輩、上司、部下。

これら全ての男性を、六段階評価してみましよう。

これは、一段階下げる必要はありません。

単純に、見たまま思ったままで結構です。

次に、その中で、パートナーがいないと思われ、あなた自身の客観的評価に近い男性を、ピックアップしましょう。

C評価のあなたなら、BCDの男性です。

いない場合は、検索範囲を広げてみましよう。

一人も見つからない人は、この本の手には負えません。

一人でも見つければ、その人があなたの恋人候補です。

あなたより評価が上の男性は、その分、難易度も高いです。

しかし、諦める必要はありません。

高望みし過ぎはよくありませんが、一段階の差ぐらい、あなたの努力次第で、どうとでもなります。

これは、あなたの人生を決めるものではありませんし、やり直しが効かないものでもありません。

気楽な気持ちでやってください。

その方が、上手くいくはずですよ。

* * *

私の場合、候補は二人いた。

本当は、三人いると言いたところだが、一人はB評価なので除外せざるを得ない。

密かに憧れていた人だったが…。

この本は、そいつは駄目だと言っている。

一人目は、高山雄司。

二つ年下の後輩で、客観的評価はC。

挨拶ぐらいはする相手だが、ほとんど話したことはない。

彼なのかなあ…。

二人目は、山下知久。

同期ということもあり、一番話しやすい奴だが、客観的評価はE。

お世辞にもイケメンとは言えず、同姓同名のアイドルとは似ても似つかない。

こいつはあり得ないでしょ？

贅沢言ってる場合じゃないのかも知れないが…。

この本は、無理な奴より身近な奴で手を打て、と言っている。

そんなんで、理想の王子様に出会えるのか？

STEP・4

【実践編初級 挨拶する】

自己分析が終わり、相手を見定めたあなたは、いよいよ、行動を起こします。

最初は、簡単なことから始めます。

簡単ですが、最も重要で奥が深いものです。

それは、挨拶です。

何を言っているんだお前、と思う方もいるかも知れません。

しかし、自分の行動を振り返ってみてください。

ちゃんと挨拶ができていますか？

気持ちの良い挨拶ができていますか？

相手をちゃんと見て、笑顔で、挨拶してみてください。

何かが変わっていくはずですよ。

笑顔で挨拶されて、不快に思う人はいません。

挨拶は、最も簡単で、最も重要なコミュニケーション方法なんです。

全ての人に同じ挨拶をしましょう。

ターゲットと見定めた男性だけでなく、他の人にも。

男女関係なく、です。

「〇さん」、「〇君」など、その人の名前を呼んで挨拶出来れば、なお良いでしょう。

頑張ってください。

あなたが、全ての人に気持ちの良い挨拶が出来るようになった頃、あなたの恋人候補の男性は、あなたの変化に気付くはずですよ。

何故なら、その彼は、あなたの行動を何気なく見ていたからです。深い意味はなく、本当に何気なく見ていただけですが。

えっ、全然、気付いてもらえないって？

それは、あなたの努力が足りないだけです。
この本が、間違ってるわけじゃありません。

* * *

「高山君、おはよう!」

「おはようございます、松下さん。」

翌日から、本の通りに実行してみた。

笑顔で挨拶すると、相手も笑顔で返してくる。

中々、気持ちが良い。

「オッス、松下!」

「なんだ、山下君か…。おはよう。」

「なんか、俺にだけ、態度が変わわくない? 酷くない?」

「そんなことないよ、おはよう、山下君!」

「それはそれで、なんか気持ち悪い!」

私にどうしろっていのよ!」

全ての人に、同じ挨拶をするのって、意外に難しい。
ついつい、感情が表に出てしまう。

奥が深いなあ。

私の挨拶運動が、一週間を過ぎた頃。

「松下、おはよう!」

「おはよう、山下君!」

同期の山下にも、同じように挨拶が出来るようになってきていた。

最初は、なんだか照れ臭かったが、すぐに慣れた。

私のことを知ってる人間に、いつもと違うことをするのは、中々、
難しかった。

「お前、最近、何か変わったよな。」

「えっ!」

こいつなの?

せめて、高山君の方が…。

「雰囲気の前より明るくなったような…。」

「そう…かな？」

私の変化に最も早く気付いたのは、山下知久だった。

こいつが、恋人候補？

客観的評価Eなのに？

STEP・5

【実践編初級 話す】

あなたの変化に気付いてくれた男性はいましたか？

気付いてくれた男性がいれば、その人が、本命ということ間違いないです。

その人のことは、別に好きじゃないって？

大丈夫です、これから好きになっていきます。

タイプじゃないって？

そんな贅沢を言っていられる立場ですか？

次の段階は会話です。

ただ話すだけとは違います。

その人と、言葉のキャッチボールをすることです。

既に、挨拶編からの流れで、ここまでたどり着いている人は、その量を増やしていきましょう。

話すのが苦手という人もいるでしょう。

短い会話からでもいいので、恐れずに努力して下さい。

気持ちの良い挨拶が出来るようになってくるあなたを、無視する男性はいないはずですよ。

天気、気候、勉強、スポーツ、仕事、趣味、なんでもいいです。

とにかく、会話をする努力をして下さい。

相手の、意外な一面に気付くかも知れませんか！

* * *

「お前って、休みの日とか何してるの？」

山下が本命とは認めたくないが、高山君より圧倒的に話しやすいのは事実。

仕方なくと言っては失礼かも知れないが、こいつとのキャッチボールの量が日に日に増えていく。

「漫画読んだり、ネットしたり、ゲームやったりで一日が終わる。」

とても、年頃の娘のやることじゃないよね……。

「へえ、お前もゲームとかやるんだ。」

「まあ、少しはね……。」

ちょっと嘘である。

某ハンティングゲームは、発売日に買い、休みの日は一日中やっているほどのゲーマーである。

「じゃあ、お前、あのゲームやったことある？俺、ちょっと詰まってるさあ。」

『あのゲーム』とは、まさに、某ハンティングゲームのことだった。

彼は、どうしてもクリア出来ないところがあるらしい。

「あんだ、そんなところで詰まってるの？ぬるい奴！」

「お前、本当は、ちょっとどころじゃないだろ？」

「な、何が？」

ヤバイ、ばれた？

「本当は、一日中、ゲームをやっちゃうような奴だろ？」

「そ、そんなことないですよ。」

「まあ、隠したくなる気持ちも分かるけどな。年頃の女が、一日中ゲームやってるなんて。」

「たまにだよ！毎回じゃない！」

ムキになって否定してみたが…。

「誘導尋問に引っ掛かってやんの！」

やられた…。

仕事関係以外の話でも、彼とは気軽に話せる。

やっぱり、こいつが本命なのか？

【実践編中級 誘う】

ここからは、より実践的な内容になっていきます。

恋人候補とのキャッチボールが増えていくと、お互いの興味あるものの中で、共通のものがありませんでしたか？

無かったのなら、まだキャッチボールが足りません。

会話の内容から、共通点を探しましょう。

有ったのなら、次の段階に進みましょう。

次の段階は、その人と何かを一緒にやってみましょう。

共通の話題を着に、ご飯を食べに行ってもいいですし、何かの作業を一緒にやるだけでもいいです。

一緒に帰るっていうのも、良いかも知れませぬ。

どこかへ一緒に出掛けてもいいですが、遠出は止めましょう。

行きはまだいいですが、帰りは悲惨です。

疲労から会話も少なくなり、共通の話題も尽き、無言のまま過ごす時間は、苦痛以外の何者でもありません。

無言のままでも、苦痛でなくなる日はいつかやって来ますが、今は難易度が高過ぎます。

とにかく、二人で過ごした時間が楽しいものであったと、お互いに認識出来なければ意味がありません。

それから、前もって約束することは構いませんが、あまりに先の予定では、意味がありません。

例えば、来月お祭りがあるから一緒に行こう、では駄目です。

明後日お祭りがあるから一緒に行こう、なら大丈夫です。

先の予定は、お互いの気持ちが冷めることがあるので危険です。

鉄は熱いうちに打て！

恋愛の鉄則です。

* * *

「ねえ、この間、話してたやつ、クリア出来た？」

最近は、山下と話すことがちょっと楽しく感じてきている。

客観的評価Eは、厳し過ぎる気もしている。

「まだ出来てねえよ。攻略法とか色々調べてるんだけど。誰か手伝ってくれる奴がいればいいんだけど。」

まあ、私達の場合、これぐらいしか共通の話題はないからなあ…。

「私で良ければ、手伝ってあげようか？」

「マジで…！」

「明日の仕事が終わってからで良ければ、ご飯を食べながらでも…。」

実は、こんな風に男性を誘うのは生まれて初めてである。

しかし、あまり緊張せずに来た。

「オッケー！じゃあ、明日の仕事後な。店とかは俺が決めていい？」

「ぶ、ぶんげん。。。」

あまりにあっさりど、初デートの予定が決まった。

まあ、向こうにしてみれば、会社の同僚と飲みに行く感覚なのだろう。

そう考えると、ちょっとへこんだ。

イヤ、ちょっと待て！

何でへこんだ？

まだ、あいつのことが好きかどうか分からないのに！

STEP・7

【実践編中級 褒める】

二人で過ごした時間は楽しかったですか？

まだ実行に移していない人もいるかも知れませんが、特に構える必要はありません。

気楽に誘ってみましょう。

失敗しちゃったという人も、気にする必要はありません。

始めから上手くいくことの方が少ないんです。

気楽にいきましょう。

さて、ここまで、色々、実践してきましたが、あなたは、相手がどういう人か分かってきましたか？

分かってきた人だけ、先に進みましょう。

分かっていない人は、会話の量を、もっと増やしてみしましょう。

次の段階は、相手の再評価です。

相手への評価は上がりましたか？

それとも下がりましたか？

まず、下がってしまった人に対してですが…、それは、あなた自身の自己評価が高過ぎました。

自己評価からやり直しましょう。

厳しいことを言うようですが、ここまであなたは、相手の何を見ていたのですか？

欠点ばかり探していませんか？

そんな人に、幸せは訪れませんかよ。

評価を上げた人は合格です。

そんなあなたは、自分自身の客観的評価を一段上げてもいいくらいです。

変わらなかったという人も合格です。
人を見る目があったということです。

その点に関しては、自信を持っていいでしょう。
合格した人達は、相手の良い部分をちゃんと見極めることが出来て
いるはずですよ。

だったら、それを言葉にして相手に伝えましょう。

短所を見つけるのは簡単です。

長所を見つけるのは難しいです。

長所を言葉にするのは、更に難しいです。

これが出来る人のみ、上級編に進む価値があります。

何でもいいんです。

「格好いい」でも、「優しい」でも、「面白い」でも。

相手のいいところを、頑張って褒めてみましょう。

* * *

「松下って、意外と面白い奴なんだな。もっと、おとなしい奴かと思ってた。」

「人見知りだから…。慣れない相手だと、何を話していいかわからないから…。」

「俺のことは、五年間も慣れてくれなかったのか…。」

「違う、違う！山下君には慣れてたよ。一番話しやすい奴だったし。ただ、表現の仕方が下手なだけで…。」

「それなら、いいんだけど。」

「でも、ちょっと誤解してた部分はあったかも。」

「俺って、そんなに酷い奴に見えてた？」

「そうじゃなくて…。もっとオタクっぽい奴かと…。」

「うわっ、ひでえな！お前もたいして変わらないくせに！」

人を褒めるって、案外、難しい。

山下のいいところは分かっているのに、言葉に出来ない。

「山下君は…、優しい奴、かも知れない…。」

「『かも知れない』ってなんだよ。」

「うーん…、優しいっていうか…、いい奴っていうか…。」

「まあ、よく言われる。『山下君っていい人なんだけどねえ…』ってな。その『…』はなんだよって話だ。」

駄目だ、褒めることが出来ない。

「えーと、そういうことじゃなくて…。私みたいな女でも、気軽に

話してくれるし…。そういうところは好きかも…。」

「えっ？」

「あっ、違う！そういう意味じゃなくて！」

「だよな…。あー、びっくりした…。」

危ない…。なに告白してみたこと言ってるんだ私は…。

【実践編上級 変わる】

相手を褒めることが出来ましたか？

上手く出来なかった人もいると思いますが、それはそれでいいことなんです。

少なくとも、相手のいい部分を見つけ、それを褒めようとした。素晴らしいじゃないですか！

今までは、あの人は〜だから駄目だ、と否定ばかりしていた人が、あの人は〜だから良い、という考え方に変わってきたのです。

さて、ここから先は、難易度が上がりますが、実践に移る前に、自分の気持ちを整理してみましよう。

今、相手のことはどう思ってますか？

既に、好きになっていませんか？

少なくとも、好きになりかけていませんか？

相手の良いところを見つければ、その人のことが好きになるのは当然です。

決して、おかしなことではありません。

友達が出来た時もそうだったでしょ？

自分の気持ちを自覚したら、いよいよ、相手を振り向かせる作業に入ります。

やることは一つです。

以前とは違う自分を、相手に見せるだけです。

外見を変える、ダイエットをする、新たな特技を身に付ける、などです。

方法は何でも構いませんし、どれか一つだけで結構です。

よく、雑誌なんかで特集されている『自分磨き』は、ここで初めて

役に立ちます。

とにかく、自分は変わったんだ、ということ、相手に分かってもらえばいいのです。

ここまで、手順を間違えずに実践してきたあなたなら、造作もないことのはずですよ。

そして、いい加減、認めましょう、その男性が好きであると。

* * *

ダイエットは、今まで何度も挫折してきた。

既に、諦め始めているが、例の本を読むようになってからは、間食だけは減らすようにしている。

ただ、これだけでは、たかが知れているので、変化には気付いてもらえないだろう。

思い切って、イメージを変えてみるしかない！

子供の頃から通っていた近所の美容院ではなく、街中にあるお洒落な美容院に行ってみた。

今までとは違う髪型に変わった。

その足で、洋服を見て回る。

今までの地味な色ではなく、明るめの色の洋服を衝動買いした。

衝動的に、色々、買ってしまっただが、私に似合うのだろうか？

おかしい格好にはならないだろうか？

色々な不安を抱えたまま、会社に出勤した。

「おはよう、松下…？」

「おはよう…？」

彼に声を掛けられ、振り返った私を見て、彼は笑顔が曇った。

「髪型、変えたんだな、お前…。」

「うん…。」

他の人が、私の変化に気付いているのか、気付いていないのか分からない中、山下だけは、私の変化に気付いたようだ。

しかし、口振りから考えるに、やっぱり私は、間違った方向に変わってしまったのだろうか？

「いいじゃん、その髪型！すげえ、似合ってる！可愛いと思う…よ。」

「ホントに？ありがとう！」

好きな人に褒められた。

単純に嬉しい。

イヤ、待て、山下が私の好きな人？

うーん…、いい加減、認めよう。

私は、彼が好きなのだと…。

「服の感じも、いつもと違うし…。何かあったの？」

「なんとなく、気分を変えてみようかと。」

あなたに、振り向いてもらう為に…。

「ふーん…。お前、もしかして…、好きな奴でも出来た…のか？」

「えっ…！」

認めた瞬間に気付かれたのか？

【実践編上級 伝える】

あなたの変化には、気付いてもらえましたか？

気付いてもらえないなら、あなたの変わり方が、中途半端だということですよ。

あなたは、もっと変われるはずですよ。

気付いてもらえた人は、ゴール目前ですよ。

男と女が恋人になるには、どうしたらいいですか？

答えは簡単ですよ？

お互いの気持ちをも、相手に伝えればいいんですよ。

ここまでたどり着いたあなたがやらなければいけないことは、告白するタイミングを見逃さないことだけです。

タイミングは、あなたと同じように、彼も変わった時ですよ。

彼を見ていれば気付くはずですよ。

目に見える部分だけでなく、会話の内容や、あなたに対する態度も変わってくるので、結構、分かりやすいはずですよ。

会話に恋愛関係の話が混じったり、あなた自身の変化に彼が戸惑ったりしてるはずですよ。

彼の方から、告白してくる場合もあるかも知れませんが。

今回のアドバイスを持ちまして、恋愛指南は終わりですよ。

あなたの必死の努力が実らない場合もあるでしょう。

しかし、あなたの努力は、決して無駄ではありません。

あなたは、この本を手に取った時とは明らかに変わっているはずですよ。

それは、近い将来、必ず実を結ぶはずですよ。

筆者も、あなたの成功をお祈りしています。

巻末に袋綴じがありますが、恋愛成就のおまじないが書いてあります。

彼氏が出来た時に読んでみて下さい。

彼氏が出来る前に、絶対に読んではいけません。

おまじないの効果なくなってしまうですよ！

* * *

自分の気持ちを自覚してから、私はちょっとおかしい。

彼に近づぐだけで、ドキドキしてしまう。

彼に声を掛けられれば嬉しいはずなのに、上手く会話が繋がらない。

明らかに、意識し過ぎてしまっている。

彼の方も、何かおかしい。

目を見て話すと、そらされてしまう。

そうかと思えば、遠くから私を睨んでいることもある。

私、何かした？

私を意識しているというより、嫌われてしまったようなんですが…。

そんなある日、彼に食事に誘われた。

何で？

なんだかんだ理由をつけて私を誘ってくる。

私は、彼に誘われた事実には動揺し、その理由はよく覚えていない。

「俺さあ、最近、気になる奴がいるんだよね…。」

「えっ、それって三次元の女の人？」

「当たり前だろ！俺をなんだと思ってるんだよ！」

これは、恋愛関係の話というやつでは？

「どんな…人？」

私にやら話せるってことは、私のことではないかも知れない…。

そう思うと、へこんだ。

「少し前から、『こいつ、可愛いかも』と思うこともあったんだけど…。最近、可愛く思えて仕方ないんだよ…。」

「私も、最近、気になる人がいるんだよね…。」

今なのか？

タイミングは今なのか？

「へ、へーえ…。俺の知ってる奴？」

「知ってるといえば、知ってるんだけど。」

どうしよう、はっきりと言わなきゃか？

「ふう。。。」

「…？」

彼は、一度、大きく息をついた。

「笑わないで聞いて欲しいんだけど…、ふう。」

「どうしたの、さっきから、ため息ばかりついて？」

何を言おうとしてるの？

「俺…、お前のことが好き…かも知れない…。」

「えっ。。。」

きた…、ホントにきたよ、これ！

どうしよう、どうしたらいいの？

「お前は、俺のこと、どう思ってる？」

「私も、好き…かも知れない…。」

「マジで…？」

「うん。」

「俺達…、付き合ってみる？」

「うん、付き合ってみる…。」

本当に彼氏が出来ちゃった…。

STEP・10 (袋綴じ)

【あとがき】

あなたが、ここを読んでいるということは、あなたに彼氏が出来たということですね！

おめでとうございます！

筆者は、あなたがこのページを開く日が来ると分かっていましたよ。

えっ、おまじないが、どこにも書いてないじゃないかって？

何を言ってるんですか、あなた？

そんなもの、あるわけがないじゃないですか。

もし、本当にあるのなら、私が教えて欲しいぐらいです。

最後まで読むことが出来たあなたは、気付いたことがあるはずですよ。あなただけの王子様は、一般市民に紛れ込み、意外と近くにいましたよね？

そして、その王子様は、必ずしも白馬にまたがっているわけではないことにも、気付きましたよね？

この本は、恋愛指南と銘打っていますが、ちょっとした意識改革や、物の見方を変える方法を書いているだけです。

それが、たまたま、恋愛にも当てはまっただけです。

期待をして読んでいただいた方々に、心からお詫び申し上げます。

この本には、あなたと彼氏が、未長くお付き合い出来る方法は書いてありません。

というより、その方法は、筆者の方が教えて欲しいぐらいです。

あなた達の未来は、あなた達自身で切り開いて下さい。

努力すれば、意外と何とかなるものだと思いますよ。

賢明な読者ならお気づきかと思いますが、筆者は、恋愛の達人なんかじゃありません。

単なる、心理学者です。

一応、既婚ですが、恋愛経験は、読者の皆様と大差ありません。もしかしたら、あなたの方より経験は少ないかも知れません。

『騙された』と思ったあなた！

正解です、あなたは騙されました。

ただ、騙された価値はありませんでしたか？

最後に、この本は、男性編もあります。

もしかしたら、あなたの彼氏が読んでるかも知れませんね！

終わり

* * *

ふざけるな、いい加減なことばかり書いて！

胡散臭い本だと思ってたんだよ、最初から！

まんまと騙されたよ。

騙されて良かったのかも知れないけど…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2847ba/>

恋人を作る方法

2012年1月14日10時47分発行